

「東日本大震災復旧復興のための実用新技術講習会及び技術相談会」を開催

ポイント

- ・ 8月9日に宮城県土地改良会館において、被災した農業・農村の復旧・復興に従事する現場の技術者・農業者等を専門の研究者が支援するため、「実用新技術講習会及び技術相談会」を開催します。
- ・ 農地の除塩、放射性物質の除染技術、水利施設の修復技術、水田の低コストな整地・均平方法、ため池堤体の改修技術などを紹介します。

概要

農研機構 農村工学研究所では、現場の第一線で被災地の復旧・復興に従事される農業関係の技術者、農業者を直接支援するため、下記の実用新技術講習会及び技術相談会を開催いたします。

これは、6月13日に宮城県と農村工学研究所との間で締結した「東日本大震災にかかる農業・農村の復旧復興推進のためのパートナーシップ協定」の趣旨に沿って開催するものです。

実用新技術講習会では、復旧・復興の現場で役立つ研究成果を紹介します。また技術相談会では、現場の皆さんからの疑問に直接、専門の研究者が答えます。多くの農業関係者の方々のお越しをお待ちしています。

記

- ・ 日時：平成24年8月9日(木) 13:00～17:15
- ・ 場所：宮城県土地改良会館
(宮城県仙台市青葉区上杉2丁目2-8)
- ・ プログラム：別紙のとおり
- ・ 参加費：無料
- ・ 申込み方法：下記問い合わせ先のいずれかの方法で7月31日までにご連絡下さい。
当日も開催場所で申込み頂いた上での参加も歓迎します(ただし、座席の確保が困難な場合もございますので、予め御了承下さい)。

問い合わせ先

農村工学研究所 技術移転センター移転推進室 寺村

Tel: 029-838-8296・FAX: 029-838-7680

e-mail: iten@ml.affrc.go.jp

本資料は筑波研究学園都市記者会、農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブに配付しています。

別紙

東日本大震災復旧復興のための実用新技術講習会及び技術相談会

(1) 開催日時：平成 24 年 8 月 9 日(木) 13:00～17:15

(2) 開催場所：宮城県仙台市青葉区上杉 2 丁目 2-8
宮城県土地改良会館

(3) 主催・共催・後援

主催：(独)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所

共催：宮城県

後援：東北農政局

(4) 内容

被災地の復旧・復興に従事する農業関係技術者や農業者等へ、現場で役に立つ研究成果の紹介をポスターセッション形式で行います。また、並行して技術相談には研究者が直接回答します。

(5) プログラム

1. 13:00～13:05 主催者挨拶

2. 13:05～13:30 基調報告「東日本大震災に関する農村工学研究所の取り組み」
鈴木防災研究調整役

3. 13:35～15:00 復旧復興の技術報告会（仙台,東部,南三陸から各 1 題 20 分）

4. 15:20～15:40 ポスターセッションインデクシング
ポスターセッションで紹介する震災復旧復興技術について担当研究者から 1 分間で説明

5. 15:40～17:10 ポスターセッションによる実用新技術講習会及び技術相談会
震災復旧復興技術についてポスターセッション形式で説明。あわせて震災復旧復興に関する現場での技術的課題について、研究者が技術相談に対応。

6. 17:10～17:15 閉会

(6) ポスターセッション内容(予定)

- ・電磁探査による効率的な地下水塩淡境界深度測定法
- ・VIMSの応用による景観予測
- ・農家や地域住民が自らできる水路の簡易な漏水補修技術
- ・ジオテキスタイル巻込み工法によるため池堤体の改修技術
- ・ジオテキスタイルを用いた津波・地震に粘り強い堤防
- ・ため池等盛土斜面の簡易なせん断強度調査法
- ・地震に強いパイプラインの浅埋設工法
- ・液状化による農業水利施設の被害とその対策方針
- ・放射性物質に汚染された農地の除去工法
- ・被災した水田における低コストな整地・均平
- ・逆浸透膜装置による地下水の除塩技術
- ・津波被災農地の植生管理の必要性
- ・リアルタイムで防災情報を提供する「ため池防災情報配信システム」
- ・液状化解析による堤体改修効果の検証
- ・赤外線サーモグラフィによる変状調査
- ・灌漑主体流域の農地水利用に与える気候変動影響の定量的評価法
- ・排水性を改良する低コストな補助暗渠工法
- ・地下水位制御システム FOEAS
- ・緩勾配水路における流れのエネルギーの発電変換法
- ・トライボロジーを活用した揚排水機の機能診断